

中期計画の実効性を高める

7つのポイント

「中期計画」は、額に入れて飾っておくものではない。自学が今後も理想とする教育を提供し続けるための羅針盤として、全構成員が使うものだ。使いやすい中期計画とするために押さえておきたいポイントを以下にまとめた。



これまで

これから

1 ゴール

つくること

使うこと

義務化されたから「作文する」では、絵に描いた餅。大学の将来に向けた活動に使う

2 策定担当

トップ

みんな

「みんな」とは、計画を実行する現場の教職員、学生、外部関係者、地域なども含む

3 学内浸透

管理職のみ

みんな

全ての構成員一人ひとりに浸透させて、初めて中期計画に血が通うことに

4 指標

やることベース

客観的な数値

成果が出たかどうか客観的に測れる指標に。努力すれば達成できる目標が主体性を促す

5 進捗管理

計画期間単位

1年または毎月

5年ごとなど計画期間単位での管理では変化に対応できない。少なくとも1年単位で

6 人事制度

特になし

成果に応じた待遇

ビジョンだけでは人は動かない。組織のメリットが個人のメリットになるしくみをつくろう

7 情報発信

義務対応

積極的に発信

これからの中期計画は、パーパス(社会的存在意義)が重要。情報発信もオープンに